

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	吉川市商工対策審議会
開 催 日 時	平成22年3月30日(火) 午前 午後1時30分から 午前 午後3時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所第2庁舎202会議室
出席委員(者)氏名	高崎正夫会長、田村正夫副会長、長嶋須美子副会長 松澤秀治委員、阿部義行委員、大倉健二委員 牧田昌己委員、水井澄人委員、真上琴代委員
欠席委員(者)氏名	中村光一委員
担当課職員職氏名	商工課長 岡田重久、商工課長補佐 岡田誠 消費労政係長 高鹿正 主任 山崎晴通
会議次第と会議の公開又は非公開の別	○会議次第 1 開会 2 委嘱書交付 3 あいさつ 4 委員紹介 5 会長選出 6 会長あいさつ 7 協議事項 (1) 平成22年度の事業について (2) 吉川市消費者動向調査の結果について 8 閉会 会議全部公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0人
会議資料の名称	・吉川市商工対策審議会条例 ・吉川市商工対策審議会委員名簿 ・平成22年度の事業について ・吉川市消費者動向調査の実施概要 ・吉川市消費者動向調査結果
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	松澤 秀治委員 田村 正夫委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱書交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高崎正夫氏を委嘱する。 <p>3 市長あいさつ(戸張市長)</p> <p>4 委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員10人のうち9名出席のため会議が成立 <p>5 会長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長に高崎正夫氏が選出される。 <p>6 会長あいさつ(高崎会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事進行は高崎会長が進行する。 ・議事録署名人について、松澤委員、田村副会長を指名する。 <p>7 協議事項</p> <p>(1) 平成22年度の事業について事務局より説明</p>
田村副会長	<p>10番の消費者保護事業でどのような方が相談員になっているか。</p>
事務局	<p>相談員は資格を持っている方で、吉川市には2人の女性相談員がいる。</p>
	<p>(2) 吉川市消費者動向調査の結果について事務局より説明</p>
水井委員 事務局	<p>回答者数について男女比は出ているか。</p> <p>資料にはなかったが、回答数は主に買い物を担当する方を対象としたこともあり、女性が多かった。</p>
田村委員	<p>アンケートの結果は地元の商店にも情報提供すれば、参考になる資料だと思う。また利用方法としては、広報に載せるなどが考えられるが、今後こういった形で公開するか。</p>
事務局	<p>アンケートの概要はホームページに掲載したい。商工会にも資料を提供していきたい。</p>
田村副会長	<p>データをとったので活用するようにしてもらいたい。特に商業者にとってはかなり参考になると思う。</p>
真上委員 事務局	<p>一店逸品の参加は増えているか。</p> <p>この事業は毎年募集しているもので、21年度は59店舗の参加があった。事業費は商工会、市の補助金の他にカタログ掲載店も25,000円負担している。主に会議費や印刷代に支出している。</p>
真上委員 事務局	<p>カタログ掲載の店についてもっと宣伝をしてほしい。</p> <p>カタログは店舗の他に、市内は全戸配布している。三郷、越谷、松伏の一部にも新聞折込で配布していることから市外からもカタログについての反響があり、個店にも反映されているものとする。</p>
松澤委員	<p>今回のカタログは水井先生が手伝いをしているのか。</p>

水井委員 阿部委員	今回は参加店による製作で参画していない。 平成21年度は自分達でどんなものが出来るか話し合っ て決めた。
阿部委員	三郷や越谷に大型店が出来て発生する車の渋滞の対応 はどこが対応することになるか。商工課としての対 応は。
事務局	交通関係の部署は市民安全課であるが最終的には警察 の対応になるものと考えている。
阿部委員	新駅が出来る際の交通対策については。商工課も交え て話し合いはあったのか。
事務局 大倉委員 事務局	商工課が入って話したことは今のところはない。 新駅周辺の開発計画はどうなっているのか。 平成24年3月に新駅がオープンする。周辺地域西側は 市街化区域だか東側は調整区域のため開発について、県 と協議中の状態です。
水井委員	埼玉県内で西部地域に行くと吉川はどこにあるのかわ からない人がほとんどで知名度が低い。もっと「なま ず」のイメージをPRしたほうがいい。
長嶋副会長	私も同じように吉川はどこにあるのか。説明するのに 苦労している。「なまず」のことをもっとPRしてほしい。 「なまず料理」を歩いて食べに行くとか、特産品が買え る店を回るとかイベントとしてやってみたらどうか。 歩いて回ればいろんな発見があるのではないか。また、 アンケートの自由意見がいっぱい寄せられているので吸い 上げてもらえたらありがたいと感じている。
水井委員 高崎会長	「なまず」といえば茨城県麻生が有名になっている。 吉川では何が有名なのか。市外の多くの人はまだわ かっていないと思われるので行政も違う角度で考えてい く必要があると思う。
事務局	吉川は「なまずの里」ということでB級グルメに出場 したり、新たなゆるキャラ作りを行うなどアピールはし ているが知名度はなかなか上がらない状況です。今後も 商工会と連携しながらまちづくりを進めたい。
高崎会長	ニュース性があるとマスコミが取材してくれるので利 用したらどうか。
大倉委員	コスモスやひまわりやレンゲなどの草花でもよいと思 う。
田村副会長	吉川市には現在いろいろな「なまず」のキャラクター が存在しているので、統一しないのか。もっと市全体で 「なまず」のPRに力をいれるべきではないか。街の中に 「なまず」の看板も少ない。
水井委員	鴻巣市でも商店、市民を巻き込んでピラミット型のひ な人形の展示を市役所で行っている。話題性や発想の意 外性により多くの観光客が訪れている。吉川市でも「な まず」をアピールする際には従来にはない方法を考え てみてはどうか。

高崎会長

以上で協議事項は終了しました。協議事項で出た意見を生かして取り組んでほしい。

閉会のあいさつ（田村副委員長）

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

22年 4月14日

署名委員 松澤 秀治

署名委員 田村 正夫